

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	教育将来検討小委員会	主 査 名：石川孝重 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会	建築教育委員会	委員長名：平田京子
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築を取り巻く社会環境の変化、建設産業の変化、建築系学生の進路の多様化を鑑み、建築教育の将来像を検討し、調査研究を行う。特に、こども市民教育、防災教育、文化財利用といった、建築や都市を使う視点、住み手の視点に関わる分野の教育について提案することを旨とする。また、実践的なワークショップを通じた建築教育についての手法や効果について調査を行う。</p> <p>初年度：活動計画の確認、研究集会 2 年度：事例収集、研究集会 3 年度：研究中間まとめ、研究集会 4 年度：研究集会、研究報告書の作成</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし	
	<p>主査：石川孝重 (日本女子大学) 幹事：平田京子 (日本女子大学) 委員：亀井靖子 (日本大学)、妹尾理子 (文教大学)、田口純子 (名城大学)、 武田明広 (千葉県立千葉工業高等学校)、長澤夏子 (お茶の水女子大学)、 萩野紀一郎 (富山大学)、元岡展久 (お茶の水女子大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校建築教育調査研究 WG 活動実績：実践事例、教材などの調査。工業高校建築教育研修会の企画および実施 ・ 近代建築アウトリーチ WG 活動実績：DOCOMOMO JAPAN との連携、海外事例調査 ・ 防災教育 WG 防災教育カリキュラムの作成、防災教育目標、ルーブリック評価など、学会大会の研究集会の企画 ・ 子ども教育 WG 活動計画：子どもに関連する建築教育活動の調査。情報共有。 ・ 住教育 WG 活動計画：委員個別の子どもに関連する建築教育活動の調査、教育事例の実践 ・ デザイン/ビルド設計教育 WG 活動実績：委員による実践事例の情報共有。 	
2022 年度予算	272,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/edu/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	<p>1. (名称) 第 22 回建築教育シンポジウム 参加者数 15 名 (資料名) 建築教育研究論文報告集 No.22</p> <p>2. (名称) 第 51 回工業高校建築教育研修会 参加者数 20 名</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 一般市民、子どもを含め、建築教育の社会への展開について議論が進められた。</p> <p>2. 高校における建築教育の調査・分析、研修会が行われた。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 他の調査研究委員会にある教育関係委員会が多く設置されているが、本委員会との連携が十分できていないことが課題である。</p> <p>2. オンライン利用の WG 開催により参加者は増えたが、深い議論が十分とは言えない。</p>